



一般質問

佐々木 常子 議員

質問の
ねらい

安心、安全の当別町に！！

巨大災害が頻発する時代となり、できる限りの防災減災対策をやっていかななくてはならない。防災について学ぶ事、そして訓練は非常に大切である。特に専門家による防災教育は重要であり、しっかり取り組ん

でいくべきである。2人に1人が罹患すると言われているがんに対する正しい知識、がん患者への理解、及び命の大切さに対する認識を深めるため専門家による充実したがん教育が必要である。

ここを
聞きたい

水害に対する避難訓練は

問 水害が起こった場合どうすればいいのか、不安の声がたくさん聞こえている。地震の時とは違う避難所、避難経路、避難のタイミング、町内会の避難訓練の推進、町としての対策は。

答 何より大切なことは防災セミナーあるいは地域や町内会ベースでの訓練であり、多くの町民参加を求め、しっかりと訓練や学習をしていただくことである。

ここを
聞きたい

一泊の訓練を！

問 防災・減災対策において訓練は非常に大切である。一泊の訓練を行うと、日帰りの訓練では分らなかったことが分かる。必要な事、必要なものが分かる。当別町においても大切な取り組みでは。

答 宿泊型の避難訓練は、本町においても今年7月に実施する予定である。関係団体との準備が整い次第、住民の皆様へ周知していく。

ここを
聞きたい

防災教育の充実を

問 子どもたちの命を守るためにも将来の防災力を向上させるためにも、過去の災害から学び専門家による防災教育を進め、学校における防災教育を充実させていくことが大切では。

答 学校では、防災教育を教育課程に位置づけている。その中で自衛隊、消防署など専門家から指導を仰いで、救急救命講習などの訓練を実施している。今後もさらに内容の充実を図っていく。



当別中学校で行われた避難訓練

ここを
聞きたい

専門家によるがん教育を

問 日本人の死因第一位で2人に1人が罹患すると言われているがんに対し、正しい知識、がん患者への理解及び命の大切さに対する認識を深めるため専門家による充実したがん教育が必要では。

答 小学5・6年の保健領域、中学3年の保健で学習している。2021年開始の中学校新学習指導要領にがん教育が明記されたことを受け、北海道医療大学等と連携しがん教育を強化していきたい。

ここを
聞きたい

遺族の負担を軽く！

問 家族が亡くなったばかりの遺族の負担を軽くするため申請書の作成など死亡時の手続きをできるだけ簡素化すべきでは。

答 ご逝去に伴う諸手続のリーフレットを改定する。また、お悔やみ専用窓口の表示をして、サービス向上に努めたい。

【その他の主な質問項目】
避難所運営の女性スタッフの対策

一般質問

山崎 公司 議員



質問の
ねらい

町民の幸福度を高める総合計画を

今後の5年、10年の生活環境が大きく変わろうとしている。「第6次総合計画」及び「創生総合戦略」において、20年続く人口減少を止めるために今後の具体的な改善策と総合計画の推進に当たり、町内会の

声を聴く機会の必要性と役場庁舎の更新について質した。この4月から小学校のプログラミング教育が必修化される。実施内容と課題を質し、更に、4年経過する職員の人事評価制度の導入効果について質した。

ここを
聞きたい

出生数の改善を

問 第1期の「創生総合戦略」の総括として、数値目標の転入数、KPI（重要業績評価指標）の出生数は、目標よりかなり下回り人口減少の要因となり、更なる取り組みが必要で、今後の改善策は。

答 受け入れる居住環境、特に子育て世帯の住環境整備が非常に重要。新年度に子育て世帯向け町営住宅の建設を進める。出生数は、乳幼児等医療費助成の拡充などに取り組むことが重要と考える。

ここを
聞きたい

積極的な5Gの推進を

問 新しい時代の流れを力にする。地域におけるSociety5.0※1の推進とSDGs※2の実現をどのように捉え、課題解決という観点から考え方をどのように反映し、どの部分に貢献しているか。

答 Society5.0は、新しいまちの顔づくりプロジェクトで5GやAIを活用した情報化エリアの構築を目指す。新しい総合計画はSDGsの理念を踏まえ策定。各施策がSDGsの目標につながっている。

ここを
聞きたい

役場庁舎の更新を早急に

問 歳入の町税、普通交付税額、寄附金等の見直しはあると思うが、今後、役場庁舎や西当別地区の小中一貫校の建設も検討する事となる。特に役場庁舎の更新を早急にとの声が多いが見解は。

答 役場庁舎の建て替えを早急にとのご意見は、全く同感である。新年度予算に調査費を計上して具体的に事業をスタートさせるが、よりスピード感を持って実現に向かって進めていく。

ここを
聞きたい

プログラミング教育の必修化

問 論理の思考力や課題解決を養う教育として、この4月から小学校でプログラミング教育が必修化される。当別の学び方や学ぶ学年はどのように実施されるか。その内容と現状課題はないのか。

答 一例として、4年の算数や6年の理科などで学習することになる。論理的に考える力をいかに養えるか、また、各教科の学びをより確かなものにしていけるかなど、先生方の力量が問われる。



役場職員

ここを
聞きたい

人事評価制度導入効果

問 人事評価制度について、町長は、制度導入時と現在と比較して職員にどのような変化を感じるか。

答 着実に成長していると感じている。とりわけ企画力、挑戦力、スピード感、スピード力の面では目を見張るものがある。

【その他の主な質問項目】

2024年に人口減少を止める決意、町内会の実情と行政に対する声を聴く機会が必要 など

※1 Society5.0…IoTやロボット、AI等の最新テクノロジーを活用した新しい社会。

※2 SDGs…Sustainable Development Goalsの略。持続可能な世界を実現するための開発目標。



一般質問

島田 裕司 議員

質問の
ねらい

図書館条例をどう活用するのか

長年の町民要望や図書館像検討委員会が答申した基本構想を踏まえ、図書館条例が制定される事は評価する。しかしながら、図書館法で設置が認められている館長の諮問機関である「図書館協議会」が条例化され

てないことは問題がある。公立図書館という専門的な機関を始めようとする時、専門的な知識経験をもった「図書館協議会」を設置しないで図書館奉仕の機能を充実させることができるか疑問である。

ここを
聞きたい

設置しない理由は

問 図書館協議会の条例化を教育委員会として必要ないという結論に達したのは、いつの時点で、どのような協議をしたのか、その経緯は。また、それは正式な会議だったのか。

答 社会教育委員会を活用するため協議会新設の必要はないと判断。1月15日に教育委員と条例についての意思決定をした時に併せて決めた。また、私が招集したものは全て公式のものである。

ここを
聞きたい

事務委任規則違反では

問 町民から「図書館協議会設置」の要望書が出ていたが、定例の教育委員会開催の前に教育長は、設置しない旨を公文書で回答している。教育委員会事務委任規則2条3項に反してないか。

答 回答した内容については、事前に各教育委員から了解を得た上でお答えしたものであるもので、規則に違反するものではないと考えている。

ここを
聞きたい

条例制定で何が変わるのか

問 図書館設置を条例化する目的は何か。条例制定することで今までと何が、どう変わるのか。改修工事やコピー機の設置だけの問題ではない。

答 条文にもあるように、町民の教育、文化の発展に寄与することが目的。条例を制定し、住民サービスの向上、今までの図書室の機能の拡大を図っていこうと考えている。

ここを
聞きたい

館長、司書の配置は

問 図書館の職員体制について、どう考えているのか。館長並びに専門的職員（司書）の配置は、ふくろう図書館、西当別コミセン図書室の配置はどのようなのか。

答 館長は社会教育課の課長が兼任。司書として有資格者4名を雇用する予定で、配置については、ふくろう図書館に2名、西当別コミセンに2名である。

ここを
聞きたい

ふくろう図書館は

問 学習交流センター、ふくろう図書館、全体を公立図書館と位置付けるべきではないのか。歴史資料室や小会議室も含めて、活用するのか。

答 内部改修を行って、現在の玄関ホールを活用するので、図書室自体の面積はその分広くなり、子どもたちの学習スペースや閲覧スペース、書棚を置いたりするなど活用していく。



ふくろう図書館（上）と西当別分館（下）

一般質問

澁谷 俊和 議員



質問の
ねらい

住民の身近な要求と町長の政治姿勢

身近な要求 1. 太美駅跨線橋に玄関戸設置を。鳩の糞はカビの一種クリプトコックス菌で感染症が心配。特に小さなお子さん、高齢者、病弱者にとって不安で一杯。毎日跨線橋を利用する住民には切実な問題。

2. 東口を利用する住民からは駐車場、駐輪場の設置とデコボコ道路を直すと強い要望が出されている。
3. 町長の政治姿勢について、町民の声を直接聞く機会を設けては。

ここを
聞きたい

太美駅跨線橋に戸の設置を

問 鳩の糞対策として、JR太美駅の東西通路(跨線橋)入口に玄関戸を設置し、中に鳩を入れさせない事が必要。費用も僅かです。費用も僅かです。跨線橋を利用する住民にとっては切実な問題では。

答 JR北海道が既に対策をとっており、現状ではそのような様子は見受けられなかった。春先に発生するならば適切な措置が必要。JRと打ち合わせをして効果的な対策を協議していく。

ここを
聞きたい

太美駅利用者に駐車場設置を

問 現況の駐車場・駐輪場は手狭でいつも満杯で利用できない。駅東口を利用する住民にとって切実な望みである。併せて、東側駅裏までの道路はデコボコで、直してほしいとの声が出されている。

答 通勤、通学者の利便性を高めることは大変重要。駅周辺開発を進めていく際には十分意識し、道路整備も含めて一体的に研究をしていかなければならないと考えている。

ここを
聞きたい

役場職員の働き方改革を

問 時間外手当が昨年比200%を超えている部署が3つ、2倍近くが2つ。この異常とも言える状態が続いている。職員を大事にするためにも、具体的な状況改善の手立てはとっているのか。

答 時間外勤務が月45時間を超えた職員がいる場合には、都度、人事部局から管理職に事情聴取を行い、必要に応じて職員と面談するなど勤務実態の把握及び改善に努めている。



JR 石狩太美駅の東口

ここを
聞きたい

職業性メンタルヘルス対策

問 聞くところによれば職業性ストレス簡易調査をしているようだが目的は。また、問題が見つかった場合、どのような対策がとられているのか。職員の障がい者雇用は法律に基づいてしているのか。

答 自身の健康管理に役立てることや未然に支援すること。問題があった場合、産業医と連携し、職員に面接や指導、就業上必要な措置を取る。障がい者雇用は3.4%で法定の2.5%以上を超えている。

ここを
聞きたい

町民の声を直接聞く機会を

問 過日の行政推進員会議で、町行政に関するアンケートなど町民の声を直接聞く機会を設けるとの声に、「町民の声を聞いて町政をやれと言うなら町長を辞めても良い」と答えたと言った。真相は。

答 必ずしも正確ではない。記憶では、アンケート、アンケートと繰り返す方に、何でも町民アンケートを行わなければ事を進められないのなら、そんな町長ならやっている意味がないとお伝えした。



一般質問

鈴木 岩夫 議員

質問の
ねらい

子育て世帯に北欧の暖かい風を

人口減少対策では子育て支援が欠かせない。乳幼児医療の「通院費」助成を小学校卒業まで拡充することで、高校卒業までの「通院費」助成と合わせると札幌市、江別市に引けを取らない当別町。道の駅に続き、

子育て世帯にも「北欧の暖かい風」が吹き始めた。引き続き子育て世帯に「北欧の暖かい風」を吹き込み当別町で「子育て」しませんかとアピールし人口増につなげるべきという狙いで質問した。

ここを
聞きたい

中学、高校までの拡大はいつ

問 乳幼児医療の「通院費」助成の拡大は、「入院費」の助成に合わせてしていこうと考えているか。もし、そうであるならば、いつ頃が適切か。

答 通院費助成は、現行小学校入学までを小学校卒業までに拡大するため今定例会で提案している。医療費の助成が子育て世帯の増加にどれだけ効果があるのか成果をしっかりと見極め検討していく。

ここを
聞きたい

国保税の引き下げを

問 高額な国保税の引き下げを行うべきでは。できなければ、せめて多子世帯の均等割りの減免を実施すべきでは。

全化のため、国が都道府県単位化を進める中、引き下げや均等割の減免を町独自政策として行うことは難しい。ただ、今後とも北海道町村会を通じて被保険者の負担軽減につながるよう国に要請を続けていきたい。

答 市町村間の不公平感軽減や市町村の国保財政健

ここを
聞きたい

親元就農者にも手厚く

問 「担い手確保推進事業」では、新規就農だけでなく親元就農者も対象か。また、町独自の助成金支給や研修機会、住宅の確保などのメニューを充実すべきでは。

答 担い手確保推進事業の主要施策である当別町農業総合支援センターを通じて支援する予定。同センターのメニューにはビニールハウス設置補助、研修、営農準備金、住宅への支援が含まれている。

ここを
聞きたい

排水の整備を急ぐべき

問 現実に冠水している実態や農業被害の実態、過去のいきさつも考慮して中央排水、23線排水の整備を国や道とも相談し急ぐべきでは。

答 既に地元の要望を受け、平成30年度にのり面の補修や土砂の除去作業を行った結果、それ以降は冠水被害はなく改善された。したがって、緊急性はないという認識である。

ここを
聞きたい

伊達山遺跡の整備・保存・活用を

問 「とうべつ未来学」の教材として伊達山遺跡は価値の高いもので、伊達山遺跡の整備・保存・活用を積極的に行うべきと考えるが、どのように考えているか。

答 令和4年実施予定のとうべつ未来学の柱の一つにふるさと学習がある。この中で伊達山遺跡で発掘された物や地域巡検などによる活用、またはその保存をあと2年ではあるが研究していきたい。



伊達山遺跡の出土品（学習交流センター所蔵）

一般質問

稲村 勝俊 議員



質問の
ねらい

持続可能な当別町農業の政策を

当別町農業の課題克服のため、当別町農業支援センターが、農業の担い手の確保と育成、持続可能な地域農業の確立、競争力の強化、農業者の所得の向上、農業生産の拡大、地域の活性化を目的に設立された。

さまざまな視点から農業課題を共有し、当別町農業 10 年ビジョンの推進と共に、農業支援センターと連携した当別町農業政策推進について質した。

ここを
聞きたい

効果的、担い手対策

問 親族による新規就農、新規自営就農、農外新規就農等の新規就農や、親族の営農継承、第三者継承等がありそれぞれ課題があるが、農業支援センターとの連携推進は。

答 農業 10 年ビジョンを実現するために、もうかる農業を目指して、今回設立した当別町農業総合支援センターを核として推進していく。

ここを
聞きたい

農地の集積、集約化の課題

問 農家戸数の減少、地域や農業の維持持続、集積拡大による支払地代等の増大、人・農地プランによる農地移動調整への方向転換等の課題を整理検証し地域農業将来像の共有認識理解が重要では。

答 私は北海道農業・農村振興審議会という知事の審議会のメンバーになっており、この中で、農地の集約・集積については、土地の賃貸問題や売買問題も議論されている。



当別町の農業風景

ここを
聞きたい

経営基盤の整備、強化

問 受け手農家対策として大区画化、集約化、交換分合等の土地基盤整備、農業機械導入負担軽減支援、また小規模、自給的農家の存続維持など、農業政策の課題は。

答 審議会の中では、経営基盤の整備・強化についても法人化の問題であるとか、^{ほししょう}圃場の大区画化や交換分合とかいろいろ議論されている。

ここを
聞きたい

スマート農業の推進

問 スマート農業を加速するとしているが、過剰投資の恐れがある。普及には機械や資材価格の引き下げ、導入資金助成や融資、通信インフラ整備負担軽減が必要。スマート農業推進の課題検討は。

答 スマート農業の推進は大変重要。また担い手不足の解消には必要不可欠。そのためには、インフラ整備、費用負担軽減、導入資金の確保、若い世代の取り込みが必要だと考えている。



ドローン



一般質問

櫻井 紀栄 議員

質問のねらい 社会全体でお互いに支えあえる社会へ

年齢や家庭環境、居住地域、障がいの有無などに関わらず全ての子どもが集い遊び、学ぶことのできるシステムづくりは、共生型社会を推進する当別町にとって重要である。先日実施された当別町の子どもと子育て

て家庭の現状と課題のアンケート調査では放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかという質問で、習い事・プレイハウス・図書館との回答結果がでた。今後の教育と共生型のまちづくりについて質した。

ここを聞きたい 放課後の居場所づくりは

問 ゆとろを子どもの集いの拠点地とし、塾や習い事の機能も一体化させ、安全面を考慮しIoTを利用した記録をつけるなど、町全体で子どもたちを見守る施策についてどう考えるか。

答 子育てサポートや子どもの安全な居場所となっているゆとろ、プレイハウス、総合体育館、コミセンなどの整備をそれぞれ進め、子どもが集える環境を整えていきたいと考えている。

ここを聞きたい ワンストップ型窓口体制は

問 バリアフリーの充実度が高いゆとろにおいて役場本庁舎でしか手続きができないような書類等があれば移動の負担になってしまう。児童・福祉の手続きがゆとろ内で完結するような体制は。

答 お子様を抱えられる方には大変負担になるので、役場へ移動しなくてもゆとろ内で手続きが済むよう町民の負担が軽減できる新たな仕組みを構築する。

ここを聞きたい おむつ替えスペースの確保

問 役場本庁舎にはおむつ替えのスペースがない。日々町民が利用する場所であり、早急に設置が必要だと考える。おむつ替えスペースについて用意することは検討しているのか。

答 平成24年に検討したが、スペースがなく断念。しかし、現在は代替場所として相談室を優先的におむつ替えスペースとしてご利用いただいている。今後、分かりやすいように表示する。



役場1Fのおむつ替えスペース（消費生活相談室）

ここを聞きたい 森の幼稚園設立

問 自分で考えて安全に行動する力を身に付ける森の幼稚園の存在は、自発的に考え行動する力が身に付く。町内で森の幼稚園設立を望む声が多く出た場合どのようなサポートをするのか。

答 サポートについては、活動の内容によって変わってくるので、その都度の判断になると考える。

ここを聞きたい 学童保育の運営と整備充実

問 高学年のプレイハウスの利用者人数が少ない理由は。プレイハウスに通いたいと思えるような仕組み作りは。

答 活動内容によるのではなく、設置目的^{※1}からすると、当然の結果で、高学年は少年団やその他の活動も加わってくる。

【その他の主な質問項目】
子育て支援センターの職員確保と人材活用、当別町の自然を活かした野外教育、当別町民憲章 など

※1 プレイハウスの設置目的…保護者が就労などの理由で不在となる家庭で留守番のできない子どもを安全な環境で保育すること。



令和4年度開校予定 当別町一体型義務教育学校 学校名決定 「当別町立とうべつ学園」

総務文教常任委員会(3/4)、産業厚生常任委員会(3/5)を開催し、町から令和元年度補正予算や条例制定等の提案説明や報告などがあり、質疑が行われました。

学校名決定の経緯について説明がありました。応募が49件あり、開校準備委員会での投票により上位5件が一次選考され、その後、小中学生の投票が行われ、教育委員会で最終決定されました。

順位	候補名	得票数
1	とうべつ学園	166
2	当別義務教育学校	82
3	当別あゆた学園	71
4	当別学園鮎田塾	30
5	鮎田学園	27

児童生徒投票(対象:当小3~6年、当中全学年)

総務文教 教育委員会での協議

問 2月19日開催の定例教育委員会で教育委員の協議により「当別町立とうべつ学園」と決定したとのことだが、どのような協議があったのか。

答 開校準備委員会の内容や児童生徒の投票内訳も全て伝え、教育委員から意見を出してもらい、最終的に児童生徒の投票数を尊重しようとなり、最終決定した。

総務文教 児童・生徒の投票

問 開校準備委員会で選考した中で鮎田学園とあった。鮎田という当別の教育の歴史からその名前が出されたと思うが、その意味を小学生や中学生は理解して投票したのか。

答 社会科の副読本の中で当別町の歴史、鮎田について触れている。学校の教育内容も踏まえ鮎田については一定程度児童生徒が理解している前提のもとで行った。

総務文教 学校名決定の根拠規定は

問 学校の名前を付けるのは、教育委員会で決定したという認識でいいか。教育委員会で決定できるという根拠規定は何か。

答 町長の教育委員会に対する事務委任規則で委任できない事務を掲載しており教育財産の取得等があるが、校名の決定は教育委員会に委ねられているものと解釈している。

産業厚生 町内会運営費補助金減額補正

問 町内会運営費補助金について、当初予算のときに、街路灯新設や電気料金を積算できたはず。78万6,000円を減額補正する理由は。

答 前年に各町内会から見込みをもらい予算計上している。LED化が進み想定より電気の消費量が減ってきた。また、街路灯改良は見込みより少ない申請であった。

産業厚生 ホームページへのアクセス

問 ホームページにコロナウイルス関係の掲載があるが、サーバーが重くなかなか見れないとの声があった。今後の対応は。

答 今後、情報管理の部門とアクセスしやすい環境が整えられるかどうか協議していきたい。

【その他の主な質問項目】
時間外手当(総務)、プレミアム商品券(産業)など

次のページは 議案の審議結果 定例会では、質疑や討論と採決が行われました。